

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

5月からNPO法人に

「特定非営利活動法人全国骨髓バンク推進連絡協議会」が平成12年5月1日に設立し、全国協議会はNPO法人として活動することとなりました。

これにより、社会的信用が増し、今までより各種事業への協力、後援等や寄付が得やすくなり、活動のレベルアップが期待されます。一方、会の運営の公平さや透明性の確保が求めら

れ、納税や保険の義務が生じるとともに、積極的な情報公開が求められます。

NPO法人の申請手続には、定款の作成準備から数えて1年半を要し、途中申請書取り下げ、再申請という回り道を経ながら5月1日付で無事法人成立となりました。

今後、「運営委員会」の名称を「理事会」と変え、新法人の

日本との格差を実感 NMDPミーティング 参加報告

4月26日から3日間、米国サンディエゴにおいて、全米骨髓バンク(NMDP)のドナー募集団体、血液センター向け勉強会に、全国協議会から派遣されて参加しました。日本からは他に財団から2名が参加しています。NMDPの現状は、94のドナ

ーセンター、10のドナー募集ボランティア団体、128の移植施設、117の採取施設、78の成分採血施設から成り立っています。さらに、6つの臍帯血バンクをかかえ、385万人以上のドナー登録があり、移植総数9244例(昨年末累計)で、昨年1年間では1370例を実施しています。コーディネート

NMDPと日本骨髓バンク(JMDP)とで大きな相違は、ボランティア団体の位置付けです。ボランティア団体は正規に認定された機関として扱われています。骨髓バンク機構図上に、ボランティア団体が存在しない日本とは異なります。登録実績に依じたインセンティブ(成功報酬)が本部から支払われ、その資金が活動の源泉になっています。

移植医療が進歩多様化する中で、当然NMDPも時代の変化に対応しています。従来、臍帯血バンクは各地赤十字中心の個別の動きが活発でしたが、プロ

各種規程の整備を行うとともに、組織体制の充実を図り、骨髓バンクのボランティア団体として社会的責務を果たしていくこととなります。引き続き、全国の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、NPO法人全国協議会の定款は、全国協議会のHPでもご覧いただけます。(三好逸二)

160名で180万マイル 堀川高校生がマイレージ寄付

今年1月からノースウエスト(NW)航空のエアケア・チャリティ・プログラムのパートナーとして全国協議会が選ばれています。機内誌や機内ビデオで全国協議会の活動内容が紹介

されるとともに、搭乗客に対して、マイレージのご寄付を呼びかけています。そして、この呼びかけにみんなが応じたのが、京都の高校生たちでした。

その高校は、京都市立堀川高校で、マイレージを寄付してくれたのは今年春、2年生になった皆さんです。

堀川高校は昨年、従来からあった普通科に加えて、人間探求科と自然探求科というユニークな2つの学科が足し、それぞれ80名の生徒が第一期生として入学しました。新設学科とはいえ、京都府下全域から志願できるといので、親元を離れて通学している生徒もいるそうです。

その人間探求科と自然探求科の生徒は、1年生の最後、3月にアメリカン・フィールドワークと名付けられた研修旅行に出かけます。160名の1年生たちは、ボストン・ワシントン・オランダなどで勉強してきました。この旅で使用した航空会社は、もちろんNW航空です。

そして、エアケア・チャリティ・プログラムに賛同して、みんながまとまって、自分たちが獲得したマイレージを寄付することになりました。

この申し出をうけて、NW航空は感激し、松村国際広報・マーケティング部長らが5月18日に堀川高校を訪れ、感謝状と記念品を贈呈しました。この贈呈式には、全国協議会から野村理事長も同席し、皆さんにお礼の言葉を述べました。

ところで、京都市立堀川高校は、クラリネット奏者として将来を嘱望されながら、一昨年亡くなられた吉田光志朗さんの母校です。吉田さんは、堀川高校音楽科3年生のとき慢性骨髄性白血病と診断され、その後、桐朋学園大学に進学されました。ドナーが見つからない時期、「金色のクジラ」に出演されています。98年夏に全米骨髓バンクを通じてアメリカのドナーからの骨髄移植を受けましたが、残念ながら亡くなりました。なお、堀川高校の音楽科は独立校となっており現在はありません。今回寄贈されたマイレージは、エアケア・チャリティ・プログラムのなかでは東南アジアへの往復航空券にして200往復分に換算できるとのことです。こうして、提供していただいたマイレージは、海外ドナーからの骨髄運搬などに活用してもらおうと、骨髄移植推進財団



との協議を進めています。海外からの運搬費用は現在、患者負担になっているため、患者さんの負担軽減のために役立てることができればと思います。

第1回 理事会報告

5月21日(日)、全国協議会事務所第1回理事会が開かれました。主な協議・報告事項は次の通りです。

(協議事項)

- ・ボランティア憲章について
- ・理事選挙管理規程について
- ・組織運営に関する規程について
- ・10周年記念グッズの作成について

(報告事項)

- ・10周年イベント準備状況について
- ・ジャスコの募金箱設置協力について
- ・各地の募金箱設置状況について

その他

- ・解散総会、NPO第1回総会、代表者会議について

願いは30万人のドナー登録!

好評発売中!

いのちのバトラー

造血細胞バンクのいま

■遠藤 允:著 ■四六判
■定価:本体2,200円(税別)
ISBN 4-39814-102-1

LOCUS ●発行/ローカス ●発売/角川書店 ●お問い合わせ:03-3837-1102

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

- 首都圏のライオンズクラブが、骨髄バンクへの全面的な支援を決定
5月13日(土)、東京で開催されたライオンズクラブ国際協会330複合地区(東京、神奈川、山梨、埼玉の498ライオンズクラブから構成)の年次大会において、骨髄バンクのドナー登録者拡大運動に全面的な支援を行うことが決定されました。
- ドナー検索時の体重条件を廃止、多くの患者さんにドナー候補が見つかる
財団では、かねてから骨髄採取に伴う貧血等の副作用をより少なくするためデータ分析を行ってきました。その結果、ドナーの性別、体重やヘモグロビン値などに木目細かな採取量等の基準を設けることにより、ドナーの安全が十分に確保できる見通しとなったため、本年4月下旬より、検索時における体重条件を廃止いたしました。この変更により、長い間、ドナー候補者が見出せなかった患者さん数十名に、ドナー候補が初めて見つかりました。
- PBSCT(末梢血幹細胞移植)の仲介について、検討を開始します
3月30日開催の財団理事会、評議員会において、PBSCTの連絡調整を行うことの検討を開始することが決まりました。これは、国(厚生省)が4月から、同種PBSCTを健康保険の適用とすることに伴い、骨髄バンクとして、患者・主治医からの要望があり、かつ、ドナーの方の同意あるいは要望がある場合、「ドナー」の方に白血球を増やす薬(G-CSF)を数日間投与した後、腕の静脈から末梢血幹細胞を採取し、患者さんに移植する治療法(末梢血幹細胞移植術)の仲介の可否、開始時期等について検討するものです。
- キャンペーン登録会説明員の養成研修会開催。開催希望地を募ります
財団の普及広報委員会では、本年度のキャンペーン登録会を400回以上開催し、4万人以上のドナー登録をめざす意欲的プランを立てています。そこで、全国各地でのキャンペーン登録会開催に備え、ドナー登録希望者の方々に登録手続き説明と申込み事項の確認を行う「説明員」を養成することといたします。原則として、各地域ブロックごとに養成研修会を開催する予定

骨髄バンクNOW

ですが、多数の開催予定、希望がある場合は、各県・団体での開催も考慮しますので、財団事務局までお知らせ下さい。ただし、今年度は業務状況から、10カ所程度までの開催と考えています。ご理解をお願いします。

- 「骨髄バンク認定施設」数が増加、42都道府県がカバーされました
財団認定の非血縁者間骨髄移植・採取施設は、99年に4施設(琉球大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附属病院、三重県山田赤十字病院、山梨医科大学附属病院)が追加になり、本年2施設(大阪市立大学医学部附属病院、鹿児島県今村病院分院)が新たに認定されています。
- 日本骨髄バンクの現状(2000年4月末現在)

	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	984	127,981	148,938
患者登録者数	121	1,749	9,235
骨髄移植例数	48	-	2,597

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

